

平成21年度

# 環境報告書

クボタ精機株式会社

# クボタ精機株式会社

1

## 工場概要

- 住所 〒587-0042 大阪府堺市美原区木材通 4 丁目 15 番 5 号
- 従業員数 379名
- 敷地面積  
本工場 16248㎡(工業専用地域)  
東工場 6717㎡(準工業地域)

2

## 事業概要

- 事業内容 農業用機械部品(油圧機器、その他精密機械部品)の設計及び製造と販売
- 主要製品 RTV900 搭載用 HST 一体型ミッション、コンバイン・トラクター・田植機・建機用コントロールバルブ、トラクター・田植機・コンバイン・モア用ギアポンプ、ブルトラ用油圧シリンダー本体、油圧モーター、トランスミッション 他



3

## 工場変遷

- 昭和 22 年(1947) 旭産業(株)設立
- 昭和 48 年(1973) 旭産業(株)よりクボタ精機(株)に社名変更
- 昭和 49 年(1974) (株)クボタ宇都宮、筑波工場向け部品供給のため、子会社関東クボタ精機(株)を設立
- 平成 12 年(2000) 事業構造改革元年と位置付け、HST\*1 事業を立ち上げた。
- 平成 13 年(2001) 建設機械用油圧モータ、2002 年度は KMA 社\*2 向けバルブ事業を受注し、2003 年度トランスミッション、2004 年度はポンプ事業に進出し、油圧機器専門メーカーとして、事業構造改革、企業体質強化に全社をあげて強力で推進している。
- 平成 13 年(2001) 資本金を 3 億円から 4.8 億円で増資した。
- 平成 18 年(2006) 売上げ 200 億円を突破。

# クボタ精機株式会社

- 平成 18 年(2006) 7月 ISO 取得キックオフ宣言
- 平成 19 年(2007) I S O 9 0 0 1 ・ I S O 1 4 0 0 1 W 認証取得 ( LRQA JAPAN )
- 平成 20 年(2008) 大阪労働基準連合会より**安全部門優良賞の表彰**を受ける  
大阪府無事故・無違反チャレンジコンテストにより**自家用部門銅賞を受賞**  
7月24日 **連続休業災害0件として5,000日を達成**
- 平成 21 年(2009) 小型・中型コンバイン用 HST 一体型トランスミッション生産開始

\*1: H S T = 静油圧無段変速機 ( Hydro Static Tansmission )

\*2: K M A = Kubota Manufacturing of America corporation

# クボタ精機株式会社

## 4 環境方針

くぼた

### 環 境 理 念

クボタ精機株式会社は、地域及び地球規模での環境保全の重要性を深く認識し、各種油圧製品の開発及び製造の各段階における環境との関わりを評価し、地域社会や地球環境に配慮した活動に取り込むことを、企業理念として実行して行きます。

### 環 境 方 針

- 1 原材料の購入から使用、廃棄、回収と生産・サービスの各段階において環境負荷の低減及び汚染の予防を図り、生産方法の改善、使用原材料の見直し等、長期的で幅広い観点からの施策を実施し、ISO14001に準拠した環境マネジメントシステムを構築、実施し、その継続的改善に努めます。
- 2 当社の環境側面に関係して適用可能な法令、条例及び同意したその他の要求事項について遵守し、管理基準を設定して、維持することに努めます。
- 3 本方針を実践するための具体的な目的、目標及び施策を明確にするとともに、その実施状況を定期的に確認し、見直しを行うよう努めます。
- 4 環境管理活動の重要性を全従業員に徹底し、環境保全に対する意識の向上に努めます。
- 5 地域での環境保全活動への参画、支援に積極的に取り組み、地域との共生に努めるとともに、本方針は、要求に応じ一般にも公開いたします。

2007年 7月 1日

代表取締役 社長 笹井 重夫

クボタ精機株式会社

# クボタ精機株式会社

## ISO14001 認証取得活動状況

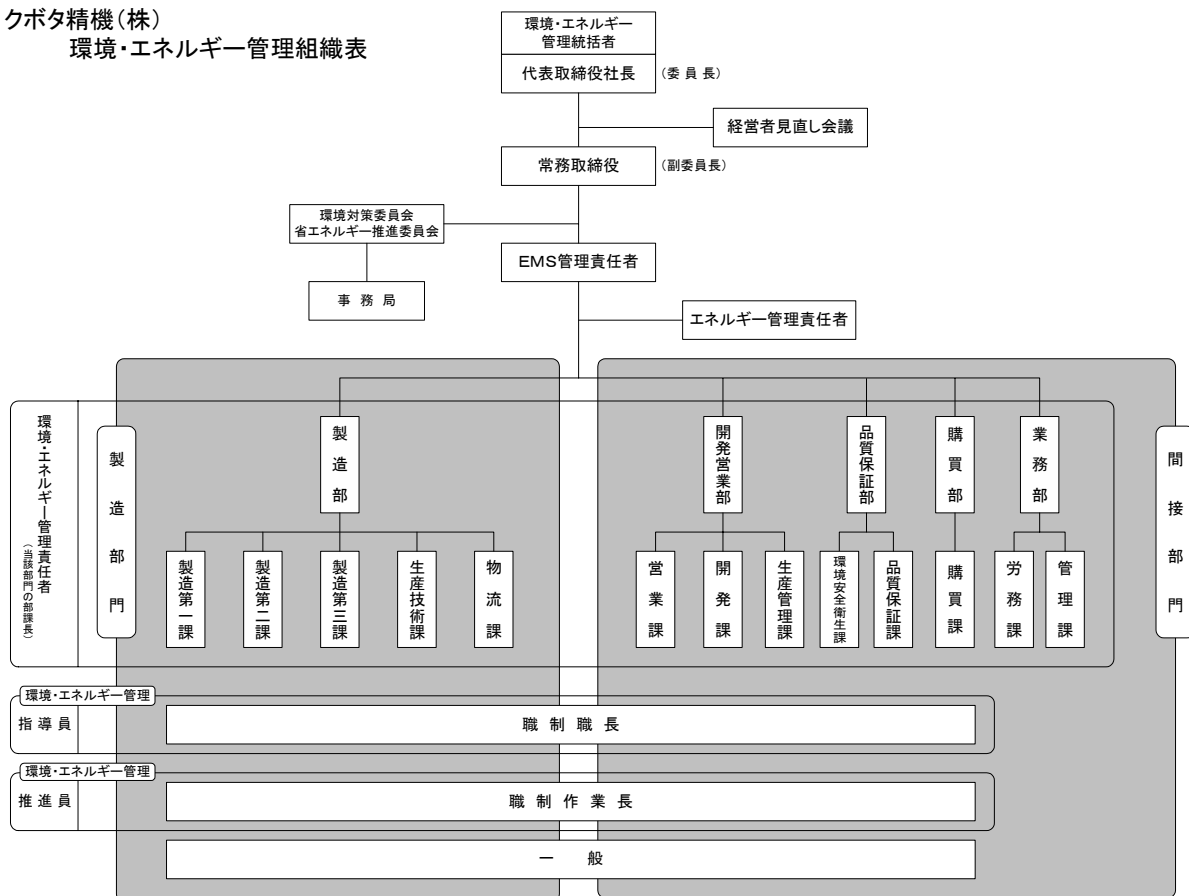
平成18年 7月 3日	小笠原社長によるキックオフ宣言
平成18年 7月14日～15日	内部環境監査員教育受講
平成18年 7月～12月	環境マニュアル等書類整備
平成19年 1月12日～13日	予備審査(ロイド社)
平成19年 2月13日～14日	ステージ1審査(ロイド社)
平成19年 3月14日～16日	ステージ2審査(ロイド社)
平成19年 3月20日	認証取得( YKA 4003899 )
ISO14001:2004 / JIS Q14001:2004	
平成19年10月 4日～5日	第1回 定期審査
平成20年 4月 8日	第2回 定期審査
平成20年10月 7日～8日	第3回 定期審査
平成21年 4月17日	第4回 定期審査



## ISO14001 推進体制

クボタ精機(株)

環境・エネルギー管理組織表



# クボタ精機株式会社

5

## 環境パフォーマンス

### 産業廃棄物の管理

#### 1. 産業廃棄物の管理方法

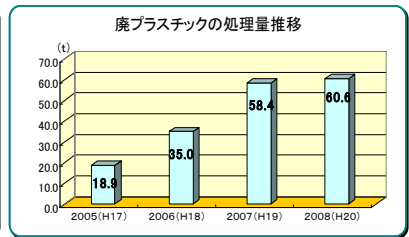
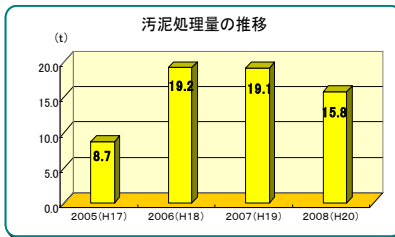
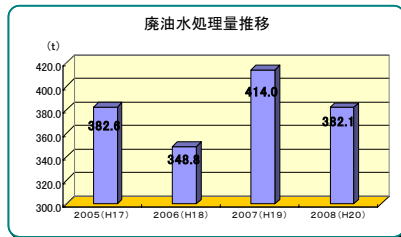
(株)クボタの環境情報管理システム (KEDES) により、廃棄物管理を確実にする。



#### 2. 産業廃棄物の処分量推移

廃棄物名	単位	2005(H17)	2006(H18)	2007(H19)	2008(H20)
雑介類(ごみ)	t	74	54	0	0
廃油水	t	382.6	348.8	414.0	382.07
汚泥	t	8.7	19.2	19.13	15.82
建設廃材	t	3.7	0	0	0
プラスチック類	t	18.9	35	58.43	60.63
ガラス類	t	3	0	2.2	0.0
処分量計	t	490.9	457.0	493.8	458.52
粗付金額(百万円)		3,903	5,086	5,753	4,665
処分量/粗付金額	%	0.085	0.078	0.088	0.098
前年度比(原単位)	%	96.3	91.8	112.8	111.4

# クボタ精機株式会社



## 省エネルギー活動

### 【省エネルギー、温室効果ガスの削減】

平成17年度にエネルギー使用量が年間3,000KI以上の工場として、エネルギー管理指定工場第1種の指定を受け、省エネルギーに対し削減が義務づけられ、中期計画(3ヶ年)を毎年前年比1%(原単位)の削減計画を提出し推進している。

- ・スイッチ箇所には節電のフレートを貼付。
- ・休憩時間完全消灯の実施を継続。
- ・室内温度の適正管理。(夏 28 ・ 冬 20 )
- ・エアコンフィルターの清掃管理を徹底。
- ・コンプレッサーの点検管理を徹底。(始業前)
- ・吐出圧、使用端圧の低減。
- ・水銀灯 Hf 蛍光灯へ(300KW/hに挑戦)

等の活動をエネルギー管理表で毎月のエネルギー使用量を管理し、原油換算/粗付金額の前年比が1%削減されているかどうかチェックしている。

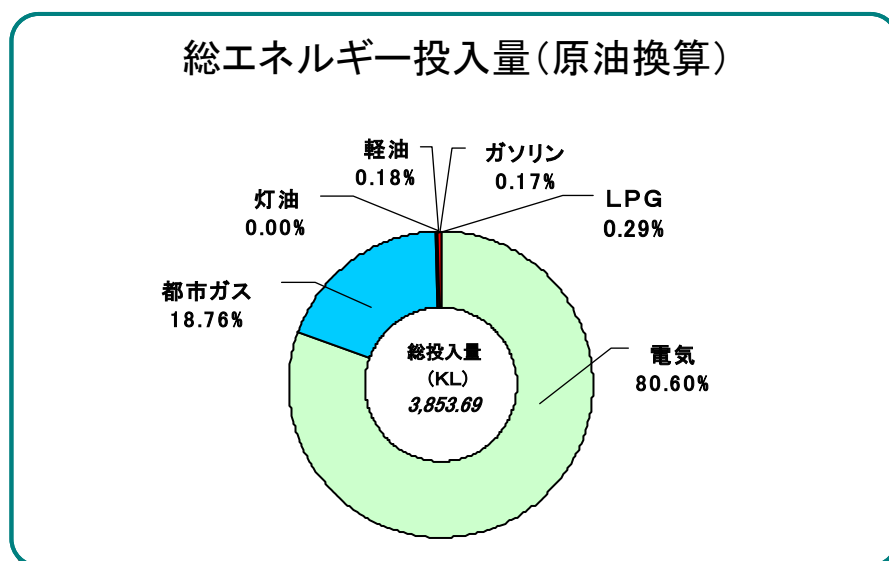
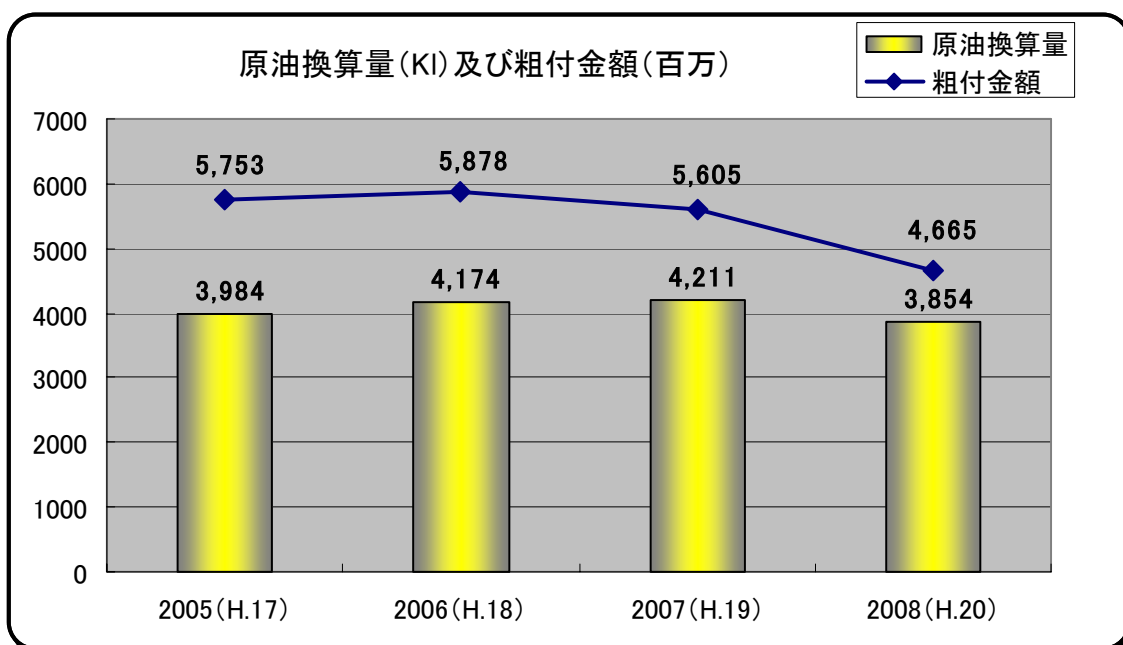
### 1) エネルギー管理表

エネルギー管理表(データ発信元)														
年月日	所属	本工場電力消費量	消費率%	原油換算量	CO2削減量	本工場金額	本工場電力消費量	消費率%	原油換算量	CO2削減量	本工場金額	本工場電力消費量	消費率%	原油換算量
4		1,095,490	37.9	643,021	392,439	12,159,789	79,143	34.8	51,601	27,542	1,179,168	8,904	153,728	703,526
8		908,730	37.9	562,498	343,272	10,836,667	63,389	34.8	41,332	22,051	1,001,342	8,900	153,749	612,696
9		1,042,190	37.9	647,175	394,975	12,262,565	69,508	34.8	45,319	24,189	1,070,389	10,429	176,149	702,923
2		1,106,430	36.9	698,151	408,269	14,156,895	66,977	35.9	45,611	23,366	1,094,047	11,783	199,936	755,655
6		965,490	37.2	606,321	359,159	12,704,362	60,236	33.2	40,238	19,998	1,044,608	11,191	191,143	657,750
8		1,027,990	37.2	642,810	380,180	13,242,433	71,490	33.2	47,749	23,731	1,105,933	9,006	169,371	699,364
1		6,077,230	37.5	3,799,936	2,279,294	75,262,331	410,737	33.8	271,876	138,291	6,576,476	61,038	104,609	4,131,815
10		1,006,950	37.8	626,261	380,589	12,027,790	70,006	33.7	50,593	22,413	1,166,076	9,650	162,595	696,504
11		885,870	37.1	553,212	328,658	10,874,862	70,982	33.4	49,694	22,388	1,124,223	10,221	168,879	616,127
12		889,310	36.7	562,933	326,377	10,978,147	69,882	32.4	46,564	22,318	1,074,487	10,000	160,000	619,497
1		877,640	36.3	558,057	319,593	12,326,898	65,050	32.5	39,374	18,476	980,408	11,160	196,828	609,591
3		847,730	37.0	530,290	311,440	11,852,648	63,818	31.4	43,779	20,039	1,070,428	11,590	201,921	595,624
7		895,210	35.9	576,394	322,816	12,982,126	47,312	37.7	34,207	13,105	951,526	10,120	180,782	620,720
下開小計		5,400,610	36.8	3,432,146	1,968,464	70,503,621	379,660	30.8	263,211	136,639	6,285,212	62,700	107,416	3,739,068
合計		11,477,840	37.2	7,211,083	4,286,751	145,685,842	790,587	32.2	535,187	265,400	12,830,688	123,734	21,204	7,989,878
4		766,170	34.9	498,777	297,393	10,278,342	44,632	25.8	33,117	11,515	772,806	10,465	177,783	542,359

# クボタ精機株式会社

## 2) エネルギー使用量の推移

エネルギー名		単位	2005(H17)	2006(H18)	2007(H19)	2008(H20)
エネルギー名	電気	KW	12,452,828	13,589,115	13,610,221	12,392,161
	都市ガス	m <sup>3</sup>	719,363	636,311	667,716	623,050
	ガソリン	L	7,448	7,700	7,161	7,259
	軽油	L	10,198	10,036	8,305	7,069
	灯油	L	2,264	96	18	18
	LPG	m <sup>3</sup>	3,374	3,728	4,123	4,336
原単位	原油換算	KL	3,984	4,174	4,211	3,854
	粗付金額	百万円	5,753	5,878	5,605	4,665
	原油換算/粗付金額	%	0.692	0.710	0.751	0.826
	対前年度比	%	0.971	1.026	1.058	1.100





# クボタ精機株式会社

## 化学物質の管理

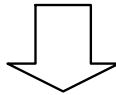
### 1. 化学物質の管理方法

#### 1) 原材料・薬品等使用許可登録台帳

HT18年度  
 品番: 7000-10174  
 名称: 722-2002-1 油類  
 記号番号: ※新採

**原材料・薬品等使用許可登録台帳**

製品No.	品番	品名	種類	購入先	購入単位	単価	2008年度					2009年度						
							1	2	3	4	5	6	7	8	9	10		
PR001	スーパーUDT	クボタ純正オイル	油性	販売所	200	32400												
PR002	M80B	クボタ純正オイル	油性	販売所	200	31000												
PR003	DTE 24	工業用油	油性	販売所	20	4800												
PR004	SHT 32	工業用油	油性	販売所	20	4800												
PR005	DT10	エタノール	油性	販売所	20	4200												



#### 2) 油類購入管理台帳

HT18年度  
**油類購入管理台帳**  
 (新規採用又は変更する場合、化学物質使用申請書で承認を得ること。)

注) 購入金額集計は契約時見積金額及びドラムでの購入金額の為、変動有

製品No.	品番	品名	種別	購入先	購入単位	単価	4月度		5月度		6月度		7月度		8月度	
							購入量	購入金額	購入量	購入金額	購入量	購入金額	購入量	購入金額		
PR001	スーパーUDT	クボタ純正オイル	油性	販売所	200	32400	14400	2332800	13400	2170800	13600	2203200	10000	1620000	13000	2106000
PR002	M80B	クボタ純正オイル	油性	販売所	200	31000	400	62000	400	62000	400	62000	400	62000	400	62000
PR003	DTE 24	工業用油	油性	販売所	20	4800	160	39200	120	29400	240	58800	80	19600		
PR004	SHT 32	工業用油	油性	販売所	20	4800										
PR005	DT10	エタノール	油性	販売所	20	4200	1000	21000	340	71400	1200	252000	1400	294000	1200	252000

### 2. 化学物質の年間使用量 ( K g )

各物質毎に1トンを超えると届出

(発がん物質は0.5トン)

【2008年度 化学物質管理表】

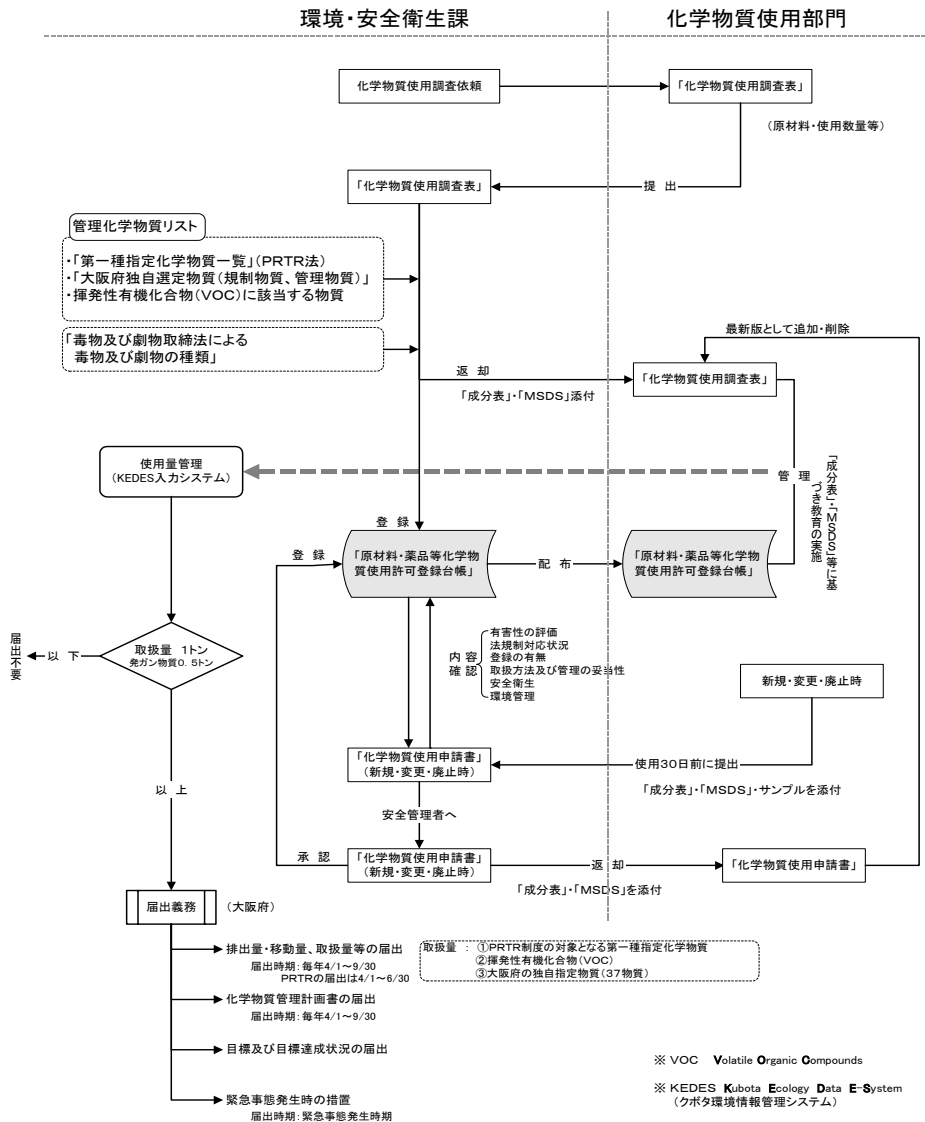
第一種指定化学物質名	物質と第一種指定化学物質としての取扱い量 (kg/年)	PRTR+大阪府条例 37物質 (kg/年)	大阪府条例 VOC規制 (kg/年)
ポリオキシエチレンノニルフェニルエーテル	0.0	0.0	
ほう素	147.1	147.1	
2-アミノエタノール	74.2	74.2	
トルエン	675.0	675.0	675.0
スチレン	142.4	142.4	142.4
クロム及び3価クロム化合物	0.0	0.0	
液状エポキシ樹脂	715.6	715.6	
キシレン	642.2	642.2	642.2
エチルベンゼン	214.5	214.5	214.5
1,3,5-トリメチルベンゼン	0.0	0.0	
フタル酸ビス-2-エチルヘキシル	0.0	0.0	
HCFC-225	4.4	4.4	
二硫化モリブデン	1.5	1.5	
銅水溶性塩	0.0	0.0	
ピクリン酸	0.0	0.0	
フタル酸	0.0	0.0	
n-ヘプタン			16.1
エタノール			3,395.7
ブタン			2,069.8
2-シアノアクリル酸エチル			6.9
ナフタリン			8.0
ヘキサン			0.8
酢酸エチル			1.5
ノナン			0.0
メチルエチルケトン			1.4
	3,386.6	7,180.1	18,949.6

# クボタ精機株式会社

## 3. H20年度取扱量届出有無

- ・ 第1種化学物質排出量等届出書
  - ・ 管理計画書
  - ・ 化学物質管理目標決定及び達成状況届出書 (VOC・トリタノールアミン)
- } 堺市に届出提出

### 【化学物質管理フロー】



## 天然資源枯渇の低減

- ・ 紙の消費量を前年比5%削減に対し11.4%削減ができた。  
(ミスプリント・ミスコピーの再利用、イントラネットを活用したペーパーレス化)
- ・ グリー購入法に基づく購入の推進  
再生紙導入率 100.0%  
(再生紙の導入は、定着した。)  
グリーン調達率 90% グリーン調達ガイドラインによる

# クボタ精機株式会社



## 目的・目標の達成状況

(2008/04/01～2009/03/31)

	単位	目標	実績	達成率	評価	備考	前年比
エネルギー消費量(原単位)の低減 (前年比 1% 低減)	kl	743,859	826,135	111.06%	▲	目標値は前年比△1%	9.95%
産業廃棄物の低減 (前年比 5% 低減)	千円	10,709	13,207	123.33%		目標値は前年比△10%	12.99%
	t	411.0	459.0	103.38%			0.44
紙の納入量を低減 (前年比 5% 低減)	kg	4,431.1	4,130.8	93.2%		目標値は前年比△5%	△11.44%
社用車の燃料使用量を低減 (前年比 5% 低減)	リットル	6,803	7,259	106.7%		目標値は前年比△5%	1.36%

自己評価の基準 : 目標超過達成 : 目標達成 : 目標概ね達成 : 目標未達成



## 環境関連法との対応状況

### ▶▶ 大気管理状況

当社として、大気汚染の特定管理施設は無く、大気汚染の管理の必要はありませんが、当社の社用車ステッカーを貼付ポスターを掲示しアイドリングストップ運度を展開しています。また、当社工場に出入りする協力会社の輸送用トラック等については、協力会社へ「環境保全活動への協力依頼」をし、アイドリングストップ運度を展開しています。

今年度（H21.1.1）から、自動車NOx・PM総量削減計画に伴い大阪府流入車規制が施行。当社車輛をはじめ当社工場に出入りする協力会社の輸送用トラック等について、適合車輛のシールにより、管理の徹底を実施。

### ▶▶ 水質管理状況

排水処理施設としての特定管理施設はありませんが、工場内から排水する所に油水分離槽をにより、油分をシャットアウトすると共に、ノルマルヘキサン及びPh測定管理を徹底し、排水をしています。

### ▶▶ 騒音・振動管理状況

振動発生施設は無く、コンプレッサー・マシニングセンタ・NC旋盤等の騒音発生施設からの騒音に対し、平成20年11月に、敷地境界線7ヶ所で昼夜の測定を実施した結果、規制基準値をクリアしていました。

### ▶▶ 有害化学物質

当社で使用している化学物質の原材料・使用数量を化学物質使用量調査により調査し、P R T R法及び毒劇法による指定化学物質を確認して成分表及びM S D S（製品安全データ）を入手し、台帳で管理しています。

今年度より大阪府条例により、揮発性有機化合物（VOC）に該当する主な物質、大阪府の独自指定物質（37物質）大阪府化学物質適正管理指針による管理物質等を『化学物質管理台帳』により管理し、「第1種化学物質排出量等届出書」・「管理計画書」・「化学物質管理目標決定及び達成状況届出書（VOC・トリタールアミン）」等の届出を堺市に提出し、使用量の削減に向けて取り組んでいます。

### 【PCB管理】

コンプレッサー室にコンデンサー（3基）を専用缶に入れ保管していたが、H20年12月に日本通運（株）の嚴重な梱包・輸送により、日本環境安全事業（株）により適正な処分を実施しました。

微量PCBの取扱について指導があり、使用中の変圧器及びコンデンサーのメーカーに確認した結果、事務所用動力変圧器に2.1mg/kgの含有が確認され、注意書き等を明示し、管理しています。

# クボタ精機株式会社

## 【PCB処分による梱包・搬送状況】



保管コンデンサーをチェック



輸送用専用保管箱へ



二重構造による専用コンテナへ



慎重に移動



万一漏えいした場合、幌により厳重に



処分先へ搬送開始

## 【微量PCB混入変圧器設置状況】



変圧器 設置状況



注意事項等表示内容



キュービクル外観

## 【製品の型式等】

1. 製造者名：(株)ダイヘン
2. 定格又は容量：3 75 KVA
3. 製造番号：P5983031
4. 微量PCB混入量：2.1 [mg/kg]

# クボタ精機株式会社

## ▶▶ 環境に関する苦情・要望について

環境に関連する苦情・要望に関しては、発生していません。

## ▶▶ 危険物取扱について

現在、貯蔵量の関係から工場棟毎に、少量危険物取扱所として消防署に申請しておりますが、洗浄用のスプレー缶(第4類 第1石)を工場内で使用している場所が見受けられます。そのため、貯蔵量を超える工場棟の建屋外に『少量未満危険物保管庫』を設置し、違法のないように油量を管理しています。



# クボタ精機株式会社



## 環境コミュニケーション

### ▶▶ 地域の皆様との交流

- 1) 大阪木材工場団地協同組合 役員会(3回)
- 2) 大阪木材工場団地協同組合 消防訓練参加(12/4)
- 3) 美原防災協会 防災研修会 参加(11/18)
- 4) 美原防災協会 防災研修会 参加(2/9)
- 5) 美原危険物部会 役員会 参加(3/24)

### ▶▶ 地域美化活動

#### ・クボタeプロジェクトの参加

2008年8月3日に社会貢献活動の一環として、(株)クボタが農業用水をきれいに保つよう、全国の河川清掃ボランティア活動が実施されました。

当社も社会貢献活動の一環として、石川(大阪府富田林市)の河川清掃に参加。

大阪府 富田



#### ・全社マナーアップ作戦として工場周辺の清掃活動

(冬季を除く年7回実施)

	実施日	実施職場	参加人数
1	4月16日	品質保証部、生産技術課、物流課、工数改善班	32
2	5月21日	製造1課(11-1~11-5、間接)	24
3	6月18日	製造1課(10-2~10-5)	43
4	7月16日	製造2課(11-6, 10-6他)及び開発営業、業務	38
5	8月27日	製造1課(14-1, 16-1)及び製造2課(12-1, 12-3)	43
6	9月24日	製造2課(12-2, 12-4)及び購買部	32
7	10月15日	製造3課及び間接	31



# クボタ精機株式会社



## 環境リスクマネジメント

緊急事態対応手順（火災）に従い実際に訓練をすることで、この手順の検証をすると共に問題点の抽出を行ない、設備点検や必要なメンテナンスを確実に実施しています。

### ▶▶ 火災の発生を想定し、避難及び初期消火活動の部分訓練を実施

万一の危険物事故の発生を想定し、被害を最小限に抑えるための対応手順を定め定期的に対応訓練を実施しています。

場内で新入社員を対象に、危険物事故の発生を想定し、水消火器を用いて消火器の実射訓練を実施（09/02/26訓練を実施）



### ▶▶ 火災が発生したのを想定して通報・避難及び消火訓練

09/02/26に通報・避難・消火訓練（消防総合訓練）

火災が発生したと想定し、  
消防署への通報 ~ 初期消火活動 ~ 避難訓練の総合訓練を実施。



エンジンポンプ車による作動テスト



エンジンポンプ車による放水テスト



# クボタ精機株式会社

## 【避難状況】

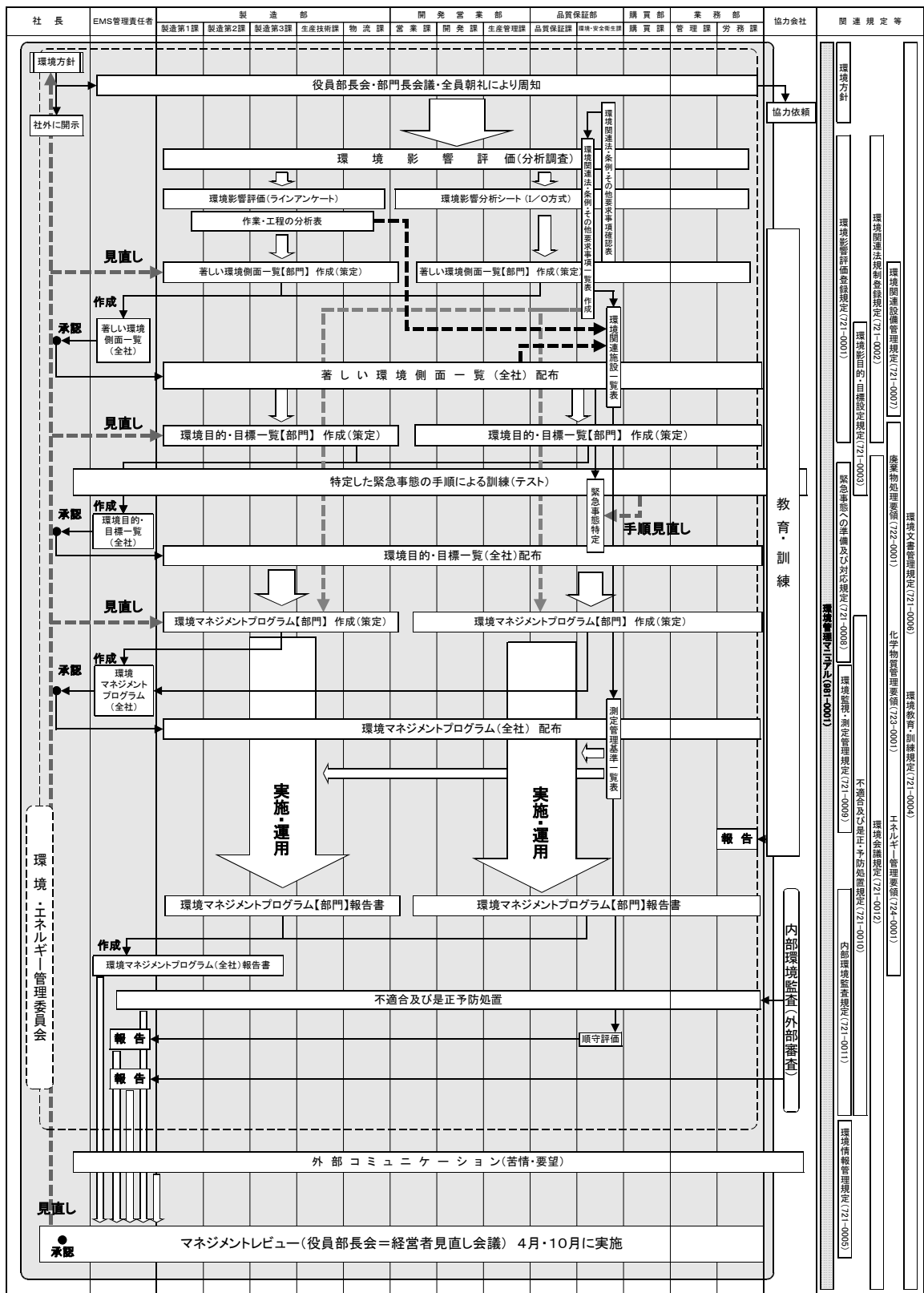


避難グループ毎に安否状況を確認



安否状況を対策本部に報告

## 環境マネジメントシステムフロー





**クボタ精機株式会社**

〒587-0042

大阪府堺市美原区木材通4丁目15番4号

品質保証部 環境・安全衛生課

2009年7月 発行